

教育には2つの機能がある。一つは人の人間形成であり、もう一つは人材の選抜である。今回は、後者の教育の人材選抜機能について考えたい。

初等教育ではこの機能はあまり重要ではないが、幼い時からの「お受験」や小学生の中学校受験もあり、親の子どもの学業成績への関心はこれに関係している。小学校教師としても考えておかなければならない問題である。

近代以降、子どもの将来の職業や社会的地位に、教育が関与することが多くなっている。それ（近代）以前は、親の職業を子どもが継ぐことが多く、教育は子どもの職業や地位に関係してこなかった。

近代の社会においては、職業によっては高い学歴が必要であり（大学卒の学歴は必要な職業はいくつもある。教員資格も大学卒が求められている）、学歴によって賃金が違う職業もある。また一般に高学歴の方が威信（人からの尊敬度）も高い。高い学歴が求められる社会である。

このような「学歴社会」をどのように考えればいいのか。

近代以前の「身分社会」では、親の階層や職業によって子どもの将来の階層や職業も決まっていた。江戸時代には、親の士農工商という身分が、親から子へという身分（士農工商）に受け継がれていた。それが明治の近代の時代になり、教育が普及し、親の身分に関係なく、個人の能力や努力次第で高い教育を受け、その学歴で高い地位や収入の得られる職業に就くことができるようになった。それが（授業資料8-1参照、7-1と表記）

このように「学歴社会」には、才能や努力が評価される能力主義（メリットクラシー）という側面がある。

一方、高い学歴を獲得した人が、それを特権にして、それ以降の競争を有利に運ぼうとし、フェアな競争がなされなくなる場合がある。「学歴社会」はそのようなマイナス面をもっている。また「学歴主義」「能力主義」は、競争に敗れた人を見下し、社会の分断を起こし、格差社会を成立させる側面もある。（授業資料8-2参照、7-2と表記）

その職業や地位を求める人が多いと、選抜をせざるを得ず、教育（学歴）の獲得競争が発生する。その選抜や競争は、全ての人に公平に、厳正に行われなければならない。

そこに親の地位や縁故や性や人種（国籍）やなどがはたらいてはいけない。親の地位が高く高所得の子どもが、高い教育を受けるのに有利であり、親が低い地位で所得も親の子どもが低い教育に甘んじなければならない社会は、教育の機会均等に反する社会であり是正されねばならない（憲法もそのように規定している）。

人材の選抜は、公平を期すため、計量可能な「学業成績」でなされることが多い。小学校でも、児童の成績が付けられ、その成績をみて、将来の教育や職業を考える子どもや親も多いであろう。

学業成績は、人の評価の1つにしか過ぎないが、それが、子どものいろいろなことへの自信（自己概念）にも繋がる。学業成績のよい子どもは、さまざまなことに自信を強め、そのわるい子どもは、全てに自信をなくす傾向がある。

したがって、このような教育における選抜や競争は必要なことなのかという疑問も起こる。選抜や競争をどのように考え、それをどのように子ども達に教えるのか。

子ども達に競争意識をどのように指導したらいいのか。勉強に関して子ども達の競争意識を鼓舞するような形で指導した方がいいのか、それとも競争意識は極力抑えて、子ども達の能力には差はなく、競争よりは共同（協働）意識こそ大事と指導すべきか。

成績の付け方も絶対評価（成績の割合を決めない。オール5でもよい）と相対評価（成績の割合を決める）がある。

勉強だけでなく運動でも競争はつきものである。スポーツの部活動でも楽しむことを優先する場合と、他校に勝つこと目標に据えることがある。このような競争に関する意識や行動を、どのように考えるべきか。

人は競争によってやる気が出て、競争心によって頑張ろうと上を目指すことは、勉強でも運動でも必要なことなのか。それともやる気や頑張りは、そのこと自体の面白さから出てくるもので、他の人より秀でたり競争で勝ったりすることから得るものではないと考えるか。また受験は、過保護に育てられた現代の子どもにチャレンジの機会を与える唯一のものという見方もある。これらも含め、競争や受験をどのように考えるか。

人生は一生続くマラソンレースのような競争の連続であればいいのか。実際今の社会では、人々はさまざまな競争にさらされている。

そもそも競争とは価値があるのか、競争の基準は何か、競争から降りて気楽に暮らすのもいいのではないかなど、教え子から聞かれたらどう答えるか。

今回の課題は、以下のようなことです。

教育の選抜機能に関してどのように考えますか。具体的に以下のようなことです（1～6のうち、いくつかの答えでも構いません）

- 1 競争心によって頑張ろうと上を目指すことは、勉強でも運動でも必要なことと思えますか。
- 2 受験という競争に関してどのように考えますか。
- 3 「能力主義」や「学歴社会」に関してどのように思いますか。
- 4 教育と格差の関係についてどのように考えますか。
- 5 教師として教育の選抜機能をどのように扱いますか

解答（コメント）は 200 字～1000 字程度で、KCN の「課題 提出」から送って下さい。